

令和5年第30週【令和5年7月24日(月)～令和5年7月30日(日)】

鹿児島市感染症情報

発行元：鹿児島市保健所

ホームページ <http://www.city.kagoshima.lg.jp> >健康・福祉>健康・医療>感染症、流行疾患>鹿児島市感染症情報（週報・月報・四半期報）

感染症発生動向調査とは…

1981年（昭和56年）から全国で行われている調査事業で、1999年（平成11年）4月に「感染症法」が施行されたことにより、感染症対策の一つとして位置づけられ、感染症の発生状況を毎週、把握・分析し、情報提供することにより、感染症の発生及びまん延を防止することを目的として行われています。

調査対象の疾患は「全数把握対象疾患」と「定点把握対象疾患」に分けられています。

- ・全数把握対象疾患：すべての医療機関において、その疾患を診断した場合に届け出るもの
- ・定点把握対象疾患：指定された医療機関（定点医療機関）において、その疾患を診断した患者数を毎週報告するもの

●全数把握対象疾患の届出状況（患者を診断した医師から届出があった疾患）

類型	届出数
1類感染症	届出はありません
2類感染症	結核1例（無症状病原体保有者1例）
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症2例
4類感染症	届出はありません
5類感染症	急性脳炎1例、梅毒1例

●定点把握対象疾患の届出状況（市内の指定医療機関（定点）からの報告）

- ・指定医療機関数（定点）：インフルエンザ/COVID-19定点 23、小児科 13、眼科4、基幹1

定点あたりの患者数（上位5疾患）を掲載（全体の数は次ページに掲載）

※定点あたりの患者数＝1週間あたりの1医療機関の患者数の平均

順位	疾患名	前週	今週		警報・注意報等
1	COVID-19	23.74	26.91	↑	警報開始基準値：－ 注意報開始基準値：－
2	インフルエンザ	32.48	19.22	↓	警報開始基準値：30 注意報開始基準値：10
3	ヘルパンギーナ	12.62	8.69	↓	警報開始基準値：6 注意報開始基準値：－
4	感染性胃腸炎	4.31	6.54	↑	警報開始基準値：20 注意報開始基準値：－
5	RSウイルス	5.77	3.54	↓	警報開始基準値：－ 注意報開始基準値：－

注目の
感染症

鹿児島県下に、ヘルパンギーナ流行発生警報が発令されています。
鹿児島県下に、インフルエンザ流行発生注意報が発令されています。
COVID-19の患者報告者数が、6週連続で増加しています。

流行の
傾向等

腸管出血性大腸菌感染症の患者報告が2例ありました。令和5年は7月30日現在、19件の報告があり、既に令和4年の報告数（10件）を上回っています。手洗いの徹底に加え、食材の管理にも気をつけてください。

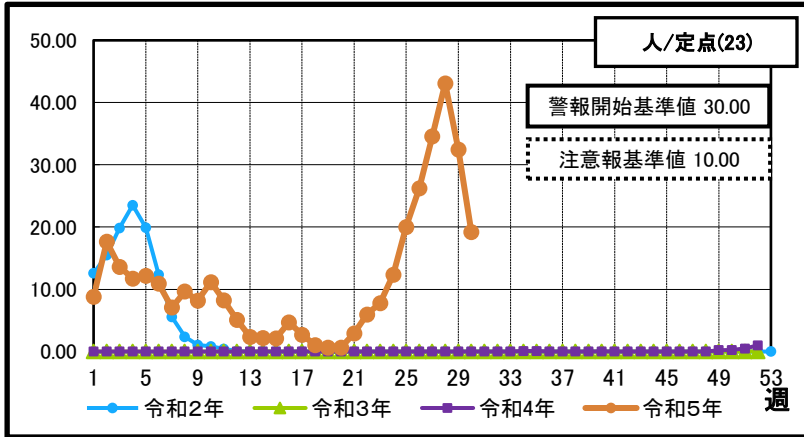
●疾患別報告数・定点当たり報告数（色の付いている疾患が定点当たり上位5位）

定点種別	前週比	疾患名	週	30	29	28	27	26	25	令和5年 報告数合計
				(本週)	(前週)	(2週前)	(3週前)	(4週前)	(5週前)	
インフルエンザ	▼	インフルエンザ	報告数	442	747	991	796	603	460	7,928
			定点当たり	19.22	32.48	43.09	34.61	26.22	20.00	—
COVID-19	△	COVID-19	報告数	619	546	444	364	268	224	3,295
			定点当たり	26.91	23.74	19.30	15.83	11.65	9.74	—
小児科	▼	RSウイルス	報告数	46	75	74	71	81	83	1,529
			定点当たり	3.54	5.77	5.69	5.46	6.23	6.38	—
	▼	咽頭結膜熱	報告数	8	9	2	4	5	12	300
			定点当たり	0.62	0.69	0.15	0.31	0.38	0.92	—
	△	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	19	14	16	18	21	12	455
			定点当たり	1.46	1.08	1.23	1.38	1.62	0.92	—
	△	感染性胃腸炎	報告数	85	56	124	81	110	94	4,644
			定点当たり	6.54	4.31	9.54	6.23	8.46	7.23	—
	▼	水痘	報告数	0	3	0	0	1	1	41
			定点当たり	0.00	0.23	0.00	0.00	0.08	0.08	—
	▼	手足口病	報告数	22	23	42	34	29	18	415
			定点当たり	1.69	1.77	3.23	2.62	2.23	1.38	—
	△	伝染性紅斑	報告数	1	0	0	1	4	1	16
			定点当たり	0.08	0.00	0.00	0.08	0.31	0.08	—
▼	突発性発疹	報告数	4	6	5	4	4	7	191	
		定点当たり	0.31	0.46	0.38	0.31	0.31	0.54	—	
▼	ヘルパンギーナ	報告数	113	164	213	204	240	259	1,960	
		定点当たり	8.69	12.62	16.38	15.69	18.46	19.92	—	
=	流行性耳下腺炎	報告数	1	1	6	3	2	1	50	
		定点当たり	0.08	0.08	0.46	0.23	0.15	0.08	—	
眼科	=	急性出血性結膜炎	報告数	0	0	0	0	0	0	0
			定点当たり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	—
=	流行性角結膜炎	報告数	0	0	0	1	0	0	6	
		定点当たり	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	—	
基幹	=	細菌性髄膜炎	報告数	0	0	0	0	0	0	0
			定点当たり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	—
	=	無菌性髄膜炎	報告数	0	0	0	0	0	0	0
			定点当たり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	—
	=	マイコプラズマ肺炎	報告数	0	0	0	0	0	0	0
			定点当たり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	—
	=	クラミジア肺炎	報告数	0	0	0	0	0	0	0
			定点当たり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	—
	=	口タウウイルス	報告数	0	0	0	0	0	0	0
			定点当たり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	—
報告数合計				1,360	1,644	1,917	1,581	1,368	1,172	20,830

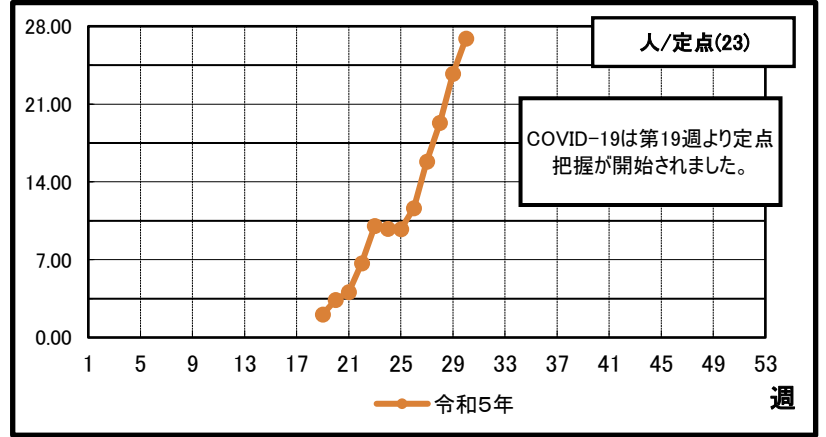
※「前週比」欄において、「△」は報告数の男女合計が前週比増加、「=」は横ばい、「▼」は減少を示す。

● 各疾病の報告状況の推移 (比較 その1)

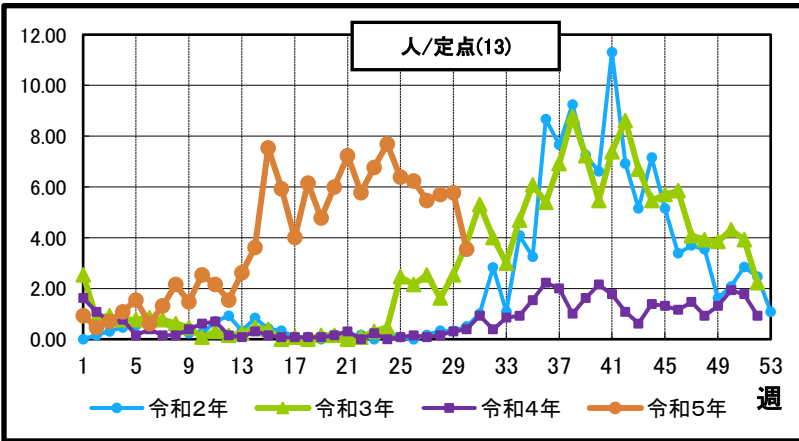
【 インフルエンザ 】



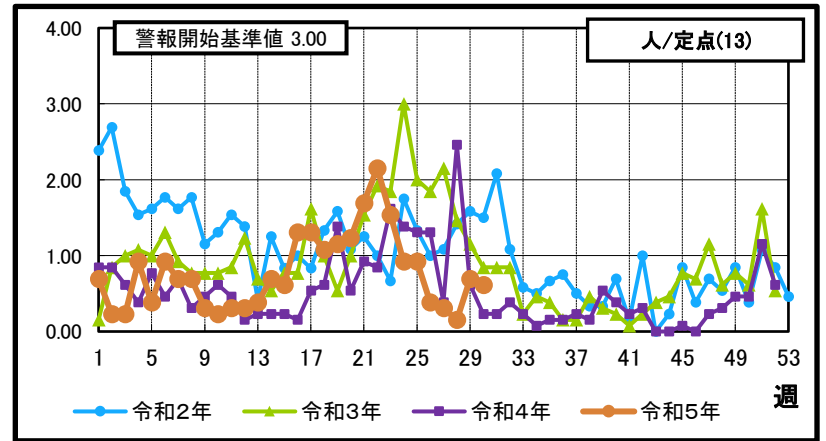
【 COVID-19 】



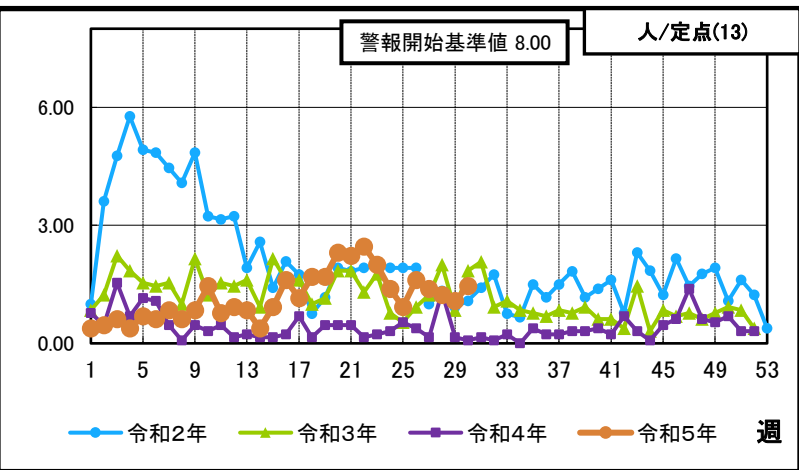
【 R S ウィルス 感染症 】



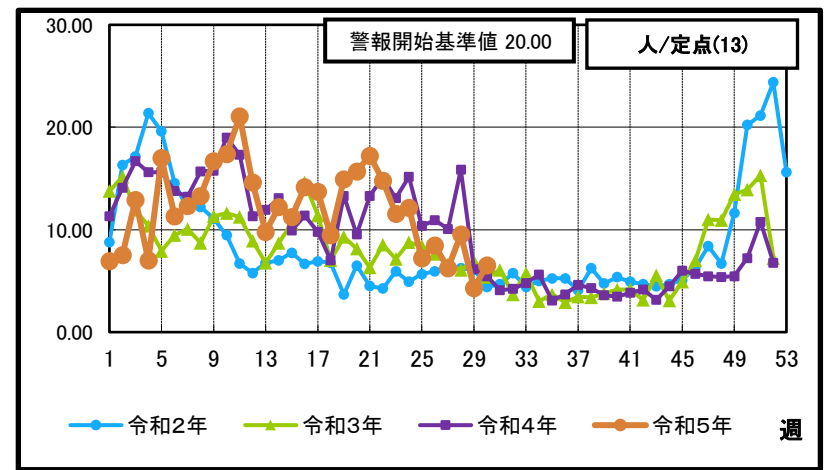
【 咽頭結膜熱(プール熱) 】



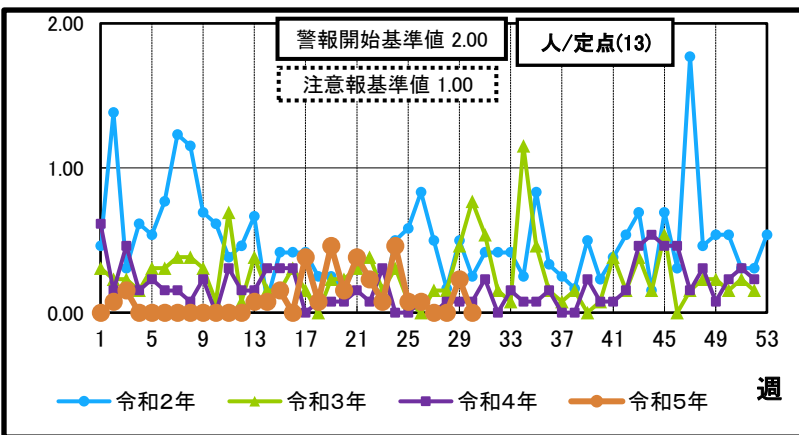
【 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 】



【 感染性胃腸炎(おう吐下痢症) 】



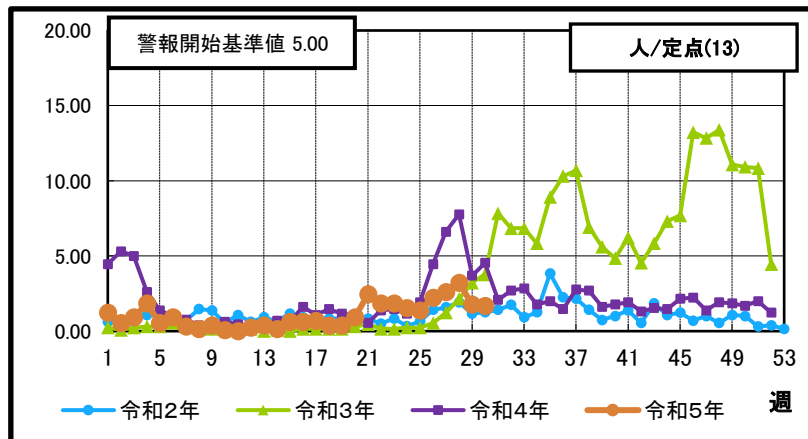
【 水痘(みずぼうそう) 】



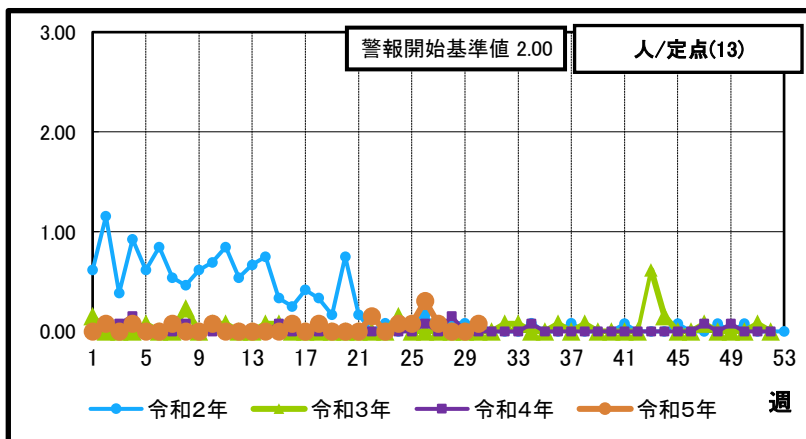
縦軸の値
⇒ 報告数 ÷ 報告義務がある医療機関数
横軸の値
⇒ 報告を受けた週

● 各疾病の報告状況の推移 (比較 その2)

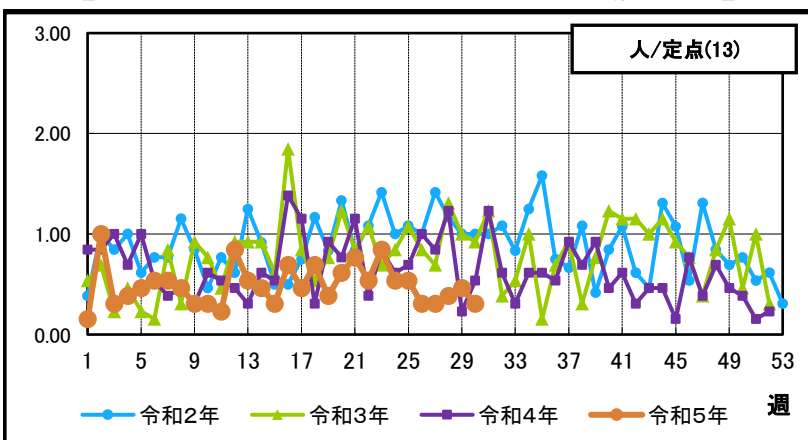
【 手 足 口 病 】



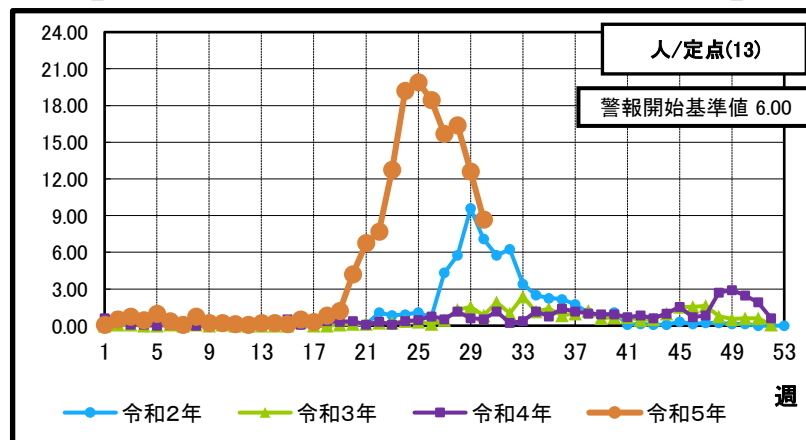
【 伝 染 性 紅 斑 (り ん ご 病) 】



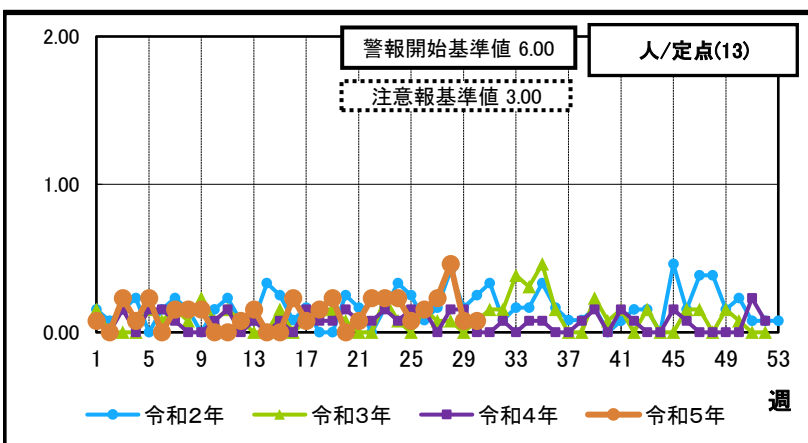
【 突 発 性 発 疹 】



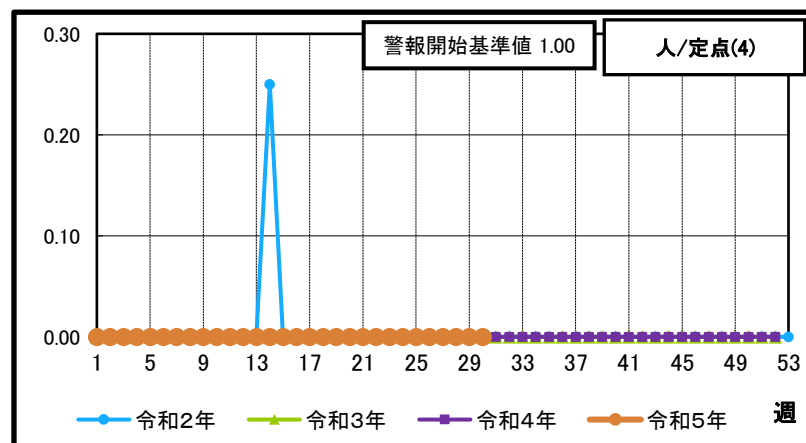
【 ハ ル パ ン ギ ー ナ 】



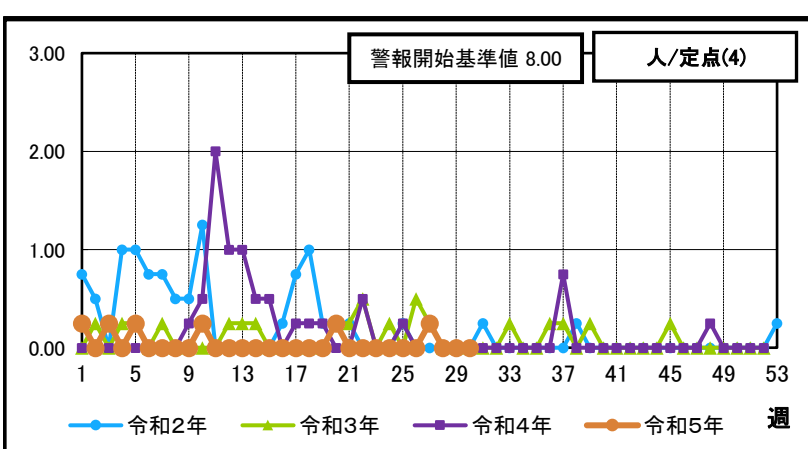
【 流 行 性 耳 下 腺 炎 (お た ふ く か ぜ) 】



【 急 性 出 血 性 結 膜 炎 】



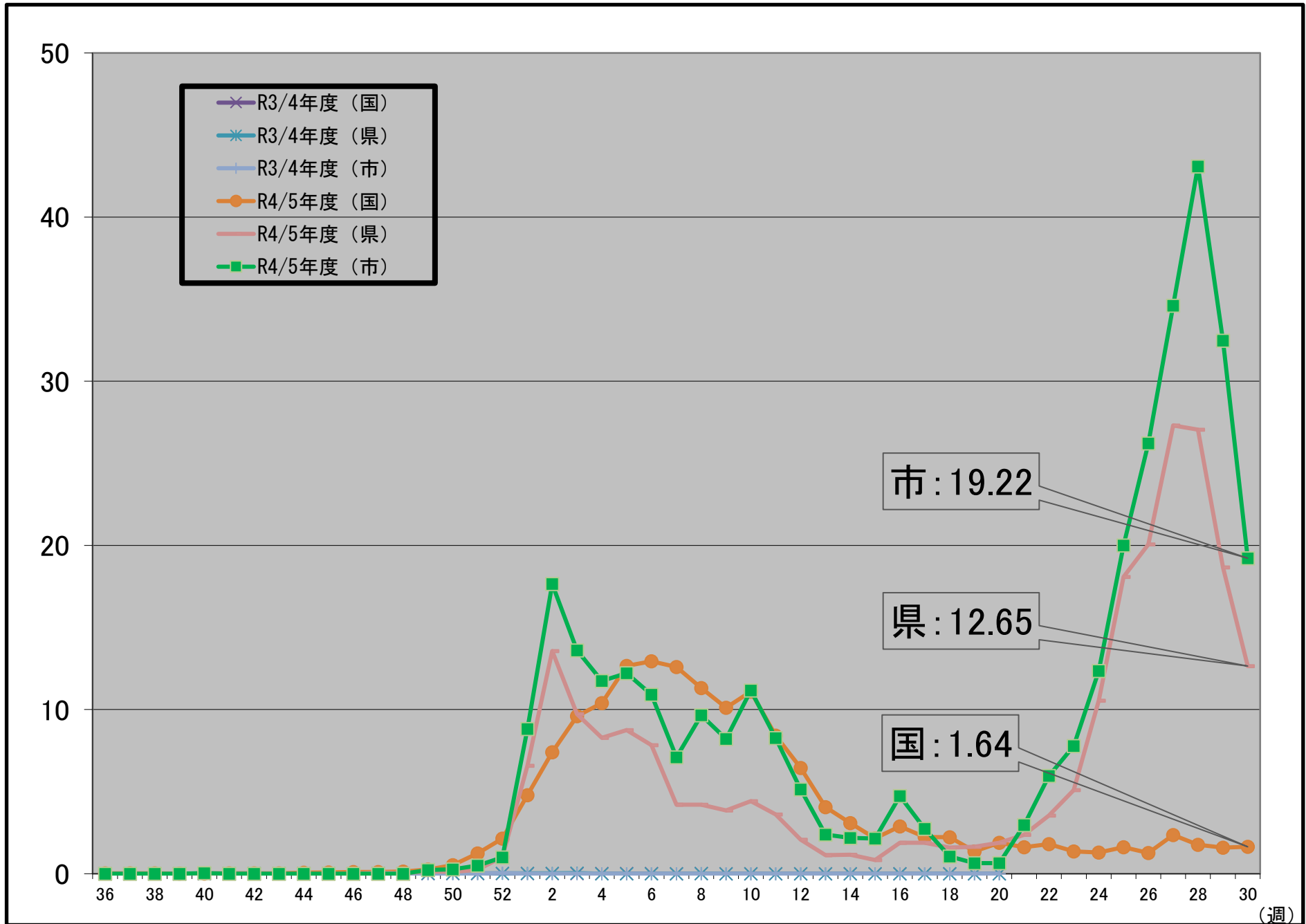
【 流 行 性 角 結 膜 炎 】



縦軸の値
⇒ 報告数 ÷ 報告義務がある医療機関数

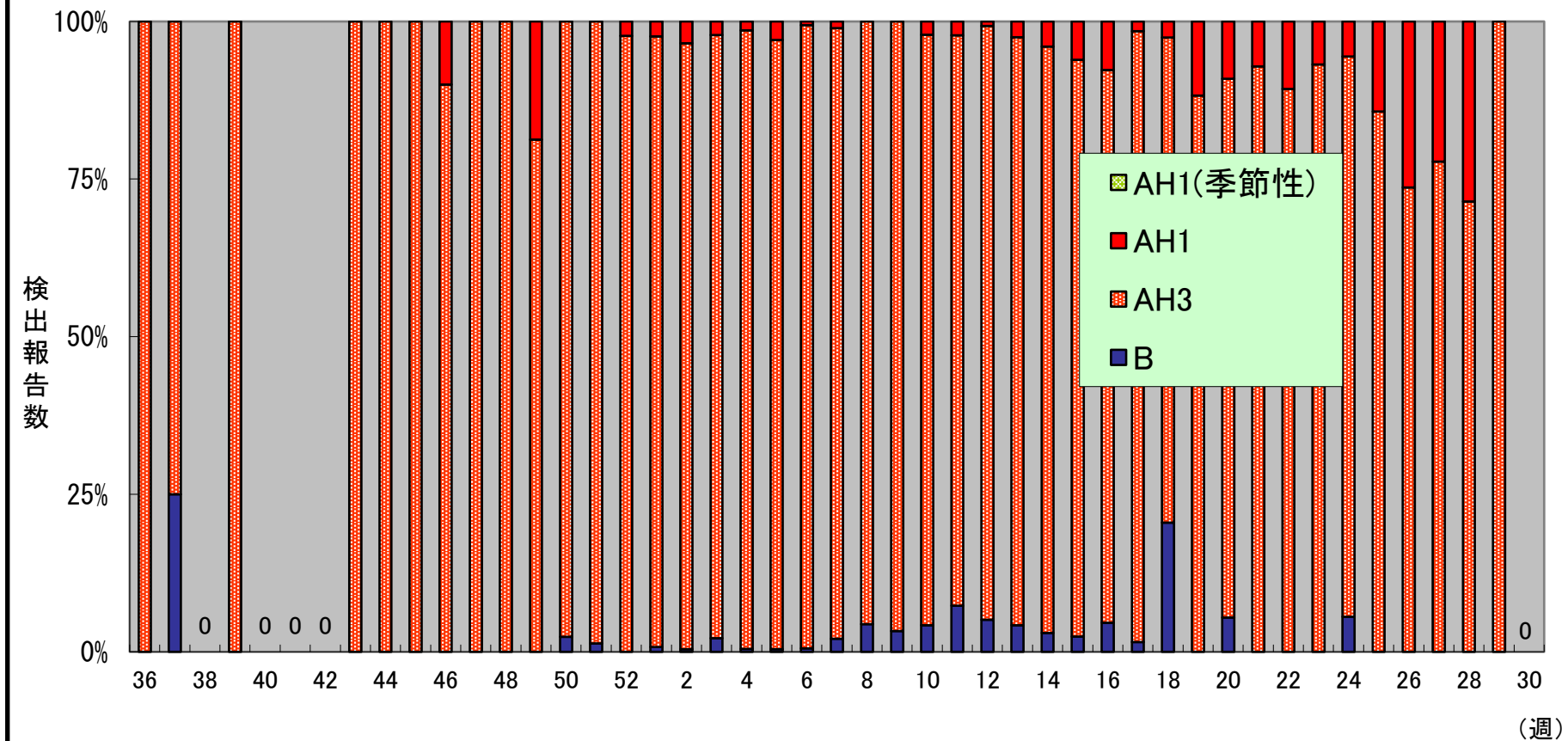
横軸の値
⇒ 報告を受けた週

R3/R4/R5シーズンにおけるインフルエンザの発生状況(1定点あたりの報告数)



インフルエンザの発生状況(参考資料)

全国の地方衛生研究所で確認されたインフルエンザウイルスの検出割合の推移
 (病原体検出情報システムの統計情報より作成)



※感染症発生動向調査システムのインフルエンザ罹患数推計データについては、確定までに時間がかかるため、前週以前の情報が変更される可能性があります。今後の週報でご確認ください。